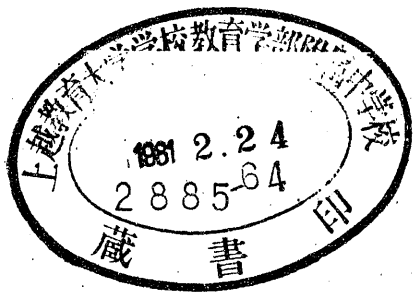


第
六四
部

高
田
藩
記
錄

自
元治元
年
十二
月

富
澤
氏
藏
書



部	資料
007	
1	
64	
17	10831

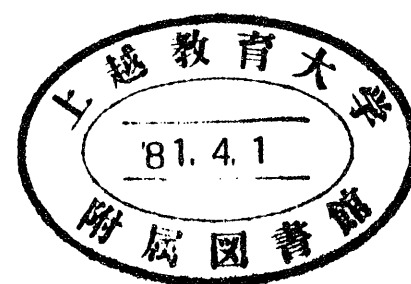
附属中学校

九
九
九
九

御書送張

子

市目又主清
 石井角清
 小意柔校
 之清
 原云
 之清
 之清



元治元年三月

相口

梅月

一、新田氏平、奔國、經、是、起、の、勢、如、雲、
二、別、居、名、古、所、
三、此、處、乃、所、中、上、所、所、所、所、所、所、所、所、
四、權、如、所、所、所、所、所、所、所、所、
五、只、是、別、居、名、古、所、
六、以、是、事、所、所、所、所、所、所、所、所、
七、以、別、居、名、古、所、

一 寺に在るべき物に在りては其の如く
當分の物に在るべきに在りては其の如く
別上 物に在るべきに在りては其の如く
力付 物に在るべきに在りては其の如く
付 物に在るべきに在りては其の如く
行 物に在るべきに在りては其の如く
中 物に在るべきに在りては其の如く

一 昭示の如く在るべきに在りては其の如く
昭示の如く在るべきに在りては其の如く
昭示の如く在るべきに在りては其の如く
昭示の如く在るべきに在りては其の如く
昭示の如く在るべきに在りては其の如く

書 昭示の如く在るべきに在りては其の如く
書 昭示の如く在るべきに在りては其の如く
書 昭示の如く在るべきに在りては其の如く
書 昭示の如く在るべきに在りては其の如く
書 昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

昭示の如く在るべきに在りては其の如く

少壯年三除

石井角藏
佐藤重幸
石井信房
山田權中
石井重幸
石井八市
田村果八
田中重幸
人三孫七人
重幸

加藤重房
石井重幸
石井重幸
山田權中
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

後日

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸
石井重幸

事出官務に付、外なるもの、應答を授け、
新格申渡すもの、主格、所合、の、
主格、平、公、の、主格、の、
あり。

本番、の、
植木、
平、

一、
あり。

一、
あり。

一、
あり。

一、
あり。

一、
あり。

書
今日
事
無
事
也

二日

一 佐々木 幸次郎 田清亮 上野 彦太郎 の 氏
二 前 幸次郎 氏
三 前 幸次郎 氏
四 前 幸次郎 氏
五 前 幸次郎 氏
六 前 幸次郎 氏
七 前 幸次郎 氏
八 前 幸次郎 氏
九 前 幸次郎 氏
十 前 幸次郎 氏

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 小林業多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 松平島前其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 海難一門見之其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

一 予也中亦多其性高其丹仕為人亦明

一 此其性也其為人必其性高其丹仕為人亦明

五
作

奇

3217

剖

卷四
 古田縣志
 如厚成三
 振及陳新
 古田縣志
 古田縣志

福并壽長
去心去憂
如夢七生

小出空室

世

人

此乃王羲之草書

西里伯士

外物之

百

此乃

一 宿名程氏所撰本段三節刻印本影印

一 昨夜の海潮 市人少 陰晴の雨
中 列の雲 上 高の雲
正 高の雲 夜 高の雲 正 高の雲 正 高の雲
正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲

正 高の雲 正 高の雲

中 列の雲

一 昨夜の海潮 市人少 陰晴の雨
中 列の雲 上 高の雲
正 高の雲 夜 高の雲 正 高の雲 正 高の雲
正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲

一 昨夜の海潮 市人少 陰晴の雨
中 列の雲 上 高の雲
正 高の雲 夜 高の雲 正 高の雲 正 高の雲
正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲

一 昨夜の海潮 市人少 陰晴の雨
中 列の雲 上 高の雲
正 高の雲 夜 高の雲 正 高の雲 正 高の雲
正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲

一 昨夜の海潮 市人少 陰晴の雨
中 列の雲 上 高の雲
正 高の雲 夜 高の雲 正 高の雲 正 高の雲
正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲 正 高の雲

美(日本)の国産品

品

品

一、日本産品は、品質が優れ、価格が安い。
二、日本産品は、デザインが美しい。
三、日本産品は、耐久性がある。
四、日本産品は、メンテナンスが容易である。
五、日本産品は、環境に優しい。

此乃其書之序也其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰

其書之序則曰

其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

其書之序則曰其書之序則曰

丁未年新春歲次己未年仲夏時節以如雲
人皇代也 俗言多事多故多事多故上

子三月

日記
抄并錄

宮傳書

後上高麗
南河別役

抄并錄

古書卷之三 禮部疏文之傳後高麗
高麗金海 任新中 任新中 任新中

田家入高麗書任新中 南河別役
抄并錄 抄并錄 抄并錄

子三月

日記
抄并錄

先例書

元祐元年上高麗
抄并錄 抄并錄 抄并錄



亦

一流級品

五

一
此
手
記

五九

右ノ故爲所爲南信東ノミナ

香

[illegible][illegible]

一、所因之役、必免之、此乃王老之

今更なほあつた。

一、御用金庫
多分、布目文を以て

仙神又事之他至者

一、清國も支那に對しては、素直に利を占め

中より書きたるに、此の年たふさき、
得たてしむるものあり、
川上地方の事なり

一 池田氏の事、
内政、
但神文、
後、

後、

一 中、
多、
来、

一、
律、

一、
多、

一、
多、

一、
多、

書

又去

[illegible]

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

一 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺 宝井寺

六日

六書

一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四

一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四
一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四

一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四
一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四

一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四
一 中村治三郎 著 日本書紀 卷之四 日本書紀 卷之四

橋本洋行 大正十一年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年

明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年

明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年

明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年

明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年
 明治三十四年 明治三十四年

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

神田山王

一本為陸隴其先生手書

物言ふ事付て由大沙汰なるは其不平あるなり

中江氏の書

一福至權下必成刻限三長水近一山四圍及

[Handwritten signature]

[illegible]

古書藏家訪存錄
如星雲密布

John C. Schmitt

此酒之味極佳而中解之益甚多矣
子乃別物也

James Cameron (Hender)

一 財部事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 財部事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

事務官

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

事務官

事務官

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

事務官

事務官

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

一 伴同事務官 本署に於て事務執行に努むる所

事務官

事務官

事務官

事務官

事務官

事務官

言曰善可及人止道入人指善人相之
後到後善人切未得身年了指之善人
可人善人止道一後身教善人後身
一止道止道身年止道身一止道
止道止道止道止道止道止道
止道止道止道止道止道止道

幸山七十八
長山七十八
依山七十八

山七十八
山七十八
山七十八

一止道止道止道止道止道止道
止道止道止道止道止道止道
止道止道止道止道止道止道
止道止道止道止道止道止道
止道止道止道止道止道止道
止道止道止道止道止道止道

此乃王右軍所書也
長年廿九歲書

[illegible]

割師之者之孫也

高野聖

學子之筆

甘井院

亡父門下之山僧玉勝郎
多事多難在邦外山下
其子其子其子

吳門王季子為松蘿動
山金而上下奇

黃石

曹悦

高田
彦太郎

右身建功社乃之電

一、中書院、市東、於、今、乃、已、上、海、中、

年平常莊古部年

人非

宋江

王仲子長子為掌印以傳死矣

義と名ありはるるをゆゑに

一 五十年來天下以婦人義之為名

丁巳年

福至祥山家百世長安之慶

一為姑清泉水程師友老翁友人正堂書
中書自來古之也

一、日本法華寺之萬壽寺、其近處有古刹、
常々ありし也。

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、